



## カビは**は**どうして生えるの

### 栄養と水気がカビの原因

カビの元(孢子)は空気中にたくさんただっており、いろいろな物の上に落ちます。落ちたところが食べ物の上で、水気や温度が適当なら、発芽してカビとなり、分裂してどんどんふえます。数がふえて大きな集団になって、初めて人間の目に見えるようになります。

### カビを防ぐ方法

衣服などについたわずかなよごれも、カビの孢子にとっては大変な栄養です。カビを防ぐには、とにかく栄養のもとになるよごれをなくし、清潔にすることと、乾燥させておくことです。

### カビのいろいろ

カビは、いろいろなところに見られます。大変種類の多い生物です。自分では栄養を作らず、ほかの有機物を食べて、それをくさらせていきます。実は、キノコもカビの仲間なのです。

ミカンにはアオカビが、イチゴや野菜には白い色のクモノスカビなどが生えます。また、皮ふ病の「みずむし」、「たむし」もひふにカビが生えたものです。

### 役にたつカビ

カビは、わるさをするものだけではありません。人間はカビのはたらきをじょうずに利用しています。たとえば、コウジカビは、みそ・しょうゆ・清酒を作り出します。アオカビは、チーズを作るときにも役立っています。薬のペニシリンは、アオカビが作り出したものです。  
(監修・中山 周平)

